海外ファッションデザイナーも注目！“徳川将軍が独り占めするほど愛した最高級の正絹着物が今甦る！”　「御召展」開催のご案内

報道関係各位
プレスリリース/Press Release
2011年6月17日
有限会社丸屋呉服店
ーー
海外ファッションデザイナーも注目！
“徳川将軍が独り占めするほど愛した最高級の正絹着物が今甦る！”
「御召展」開催のご案内
ーー
創業大正15年の有限会社丸屋呉服店（東京都大田区 取締役社長 谷加笑子）は、来る平成23年11月3日（木） から6日（日）までの4日間、御召展を京都（船鉾町・京絞り寺田内）にて開催します。
今回2回目の開催となるこの御召展は、初代谷博義が、長年の歴史と伝統を持つ絹織物を後世に残す為、昭和30年代前後より蒐集した、約1,400枚の裂地を研究材料として復刻される”柄は昔でも色はモダン”な御召を通し、平成のトップモードとしてこれからの世代に日本の伝統技術や「美」を伝えることを目的としています。
昨年、東京・銀座にて開かれた第１回には、3日間で中村吉右衛門夫人や中村東蔵夫人などの歌舞伎界関係者や着物ファン約250名が来場しました。
URL: http://www.kimono-maruya.com/media/#post-581

【推薦文】
「御召」 讃（一部抜粋）
「美しさと使いやすさの追求の執念が、精緻な技術を内包して工夫を凝らし磨き上げた。滅びゆく日本の着物姿や振る舞いの深遠さ。それは「御召」に敵うものはないと思う。今日、着物という見せ場に泥んだ眼を「御召」に移したとき、それは明らかになるのではないか。」
大口キミヨ

昭和のトップモード”御召” ～谷博義コレクション～
日時： 平成23年11月3日（木） ～6日（日） ≪入場無料≫
時間： 11:00-18:00 場所：京絞り寺田
（京都府京都市下京区新町通綾小路下る船鉾町391 ）
展示品： 昭和30年代の御召裂布を中心に、復刻御召12点、
現代の御召30点を展示予定。
協力： ㈱矢代仁、京絞り寺田、服部綴工房、アトリエ森繍・森康次、
西陣坐佐織・佐竹司吉、京友禅作家・木戸源生、
タマオズコレクション・大冨玉緒

【御召について】
御召とは、「御召縮緬」の略であり、「先染め縮緬」とも呼ばれている。
最も高級な正絹着物である御召に惚れ込んだ徳川十一代将軍家斉公

（1787～1837）は、御召料（徳川家の着物）として「留柄」を創り、
他の者が着ることを禁じた程だった。
現在でも「東の銘仙、西の御召」と言われるように、御召は着物の代表と
されている。
また最近では、海外のファッションデザイナーが日本の絹染物に
注目しており、今後日本の織物技術の最高位である御召が日本の
織物産業界の発展へと繋がっていく事が期待されている。

【丸や呉服店について】
1926年（大正15年）3月1日 に開店。親娘3人で切り盛りしている気取りのない
呉服店として、古くからの顧客や地元のお客様に愛されている。
現在の3代目店長、谷加奈子は初代博義の孫にあたり、七緒（プレジデント社）
や「着物いろは」（日本ヴォーグ社）などの誌面にて、着付け講師や
着物の達人として出演。
朝日新聞の浴衣関連コーナーでは「浴衣のお手入れ方法」を紹介、また
日本経済新聞では「お勧めの浴衣着こなしサイト」として、丸やホーム
ページが紹介されている。
年代別の着物と帯、小物のコーディネートや、毎日着物で生活している
親娘ならではの着物や帯の工夫などのアドバイスも行う。
着物で参加できるクルージングパーティーやワークショップなどの
イベントも定期的に開催中。
詳しくは、3月23日 リニューアルされた丸やウェブサイト及び
ウェブショップ（http://kimono-maruya.shop-pro.jp/）で。

《概要》
有限会社丸屋呉服店 取締役社長 谷加笑子
東京都大田区西蒲田7－48－7
URL: http://www.kimono-maruya.com

《本件についての問合せ先》
丸や呉服店 店長 谷加奈子
03-3731-4189
info@kimono-maruya.com
店長ブログ：http://diary.kimono-maruya.com/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com